



— 淡路の情報がいっぱい！生活創造しんぶん —

月刊

ポケットあわじ



私たちは島でやりがいを見つけました



VOL.170

あ
わ
じ

P1 由良 赤星さん P2 淡路市 平野さん P3 南あわじ 柴山さん夫婦 P4 五色 土屋さん夫婦・福島沖へ1ターン P5 トライやるウィーク・夢幻ダンス P6 淡路文化会館・淡路消費生活センターからのお知らせ・淡路島くにうみ協会からのお知らせ P7.8 淡路の文化活動・イベント情報



大阪→由良

1ターンで漁師に 赤星 寛さん

洲本市由良で由良漁業組合に所属し、素潜り漁をされている赤星 寛(ひろし)さん(40才)を訪ねました。赤星さんの出身地は大阪府堺市で、当時は家族4人で暮らしていました。

赤星さんが漁師になったきっかけは、10年前に奥様を亡くされ、その時は一般のサラリーマンで、子どもが6才と2才でした。サラリーマン生活では、母親を亡くしてさみしい思いをしている、まだ小さかった子どもたちとの一緒に時間がほとんどありません。その時、少しでも多く家族との時間がとれる職業に転職しようと考えていました。若い時からスキューバダイビングを楽しんでいたことから、淡路島の由良に素潜り漁があると聞きました。この仕事なら昼間の時間に出、朝と夕方は子どもと一緒に暮らせる。いろいろと考えた結果、由良には全く知り合いもいなかったが、7年前に由良にきてこの素潜り漁の世界に入ったそうです。現在は仲間5人と一緒に船に乗って漁場まで行き、そこで素潜り漁をして帰ってきます。素潜り漁では、サザエやアワビ、ウニ、ナマコ、天然ワカメなどを獲りますが、シーズンによって獲るものが違うそうです。

「漁の時間は9時30分から13時30分までと決められている

ので、子どもと過ごす時間も十分でき、現在上の子どもは高校

1年生で部活はボート、下の子どもは小学校6年生の女の子で少年野球のチーム、二人ともそれぞれに頑張っています。「淡路島に来たしはらくは『よそ者』ということと由良の言葉がほとんどわからず苦労しましたが、現在は周囲にも環境にも恵まれ素潜り漁も好きなので、淡路島にきてほんとうによかったし、これからも仲間に信頼される漁師としてできるだけ長く続けていきたいと思っています」と話してくれました。

赤星さんとお会いした時は体も大きく強面でしたが、話を聞いているととても誠実で言葉も柔らかく、私の長男とほぼ同年代ということでもとても親しみを感じました。またお二人の子どもの成長を楽しみに頑張っているお父さんの顔でした。素潜り漁という大変な仕事だとは思いますが、これからも健康に気をつけ「淡路島の漁師」として頑張っていきたいと思っています。(応援隊: 田処 吉久)



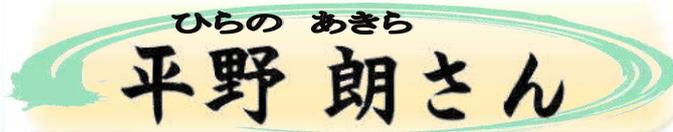
淡路市楠本(旧東浦町)で農業を営んでいる平野朗(あきら)さんは淡路に住んで4年、今では家族4人(夫婦、2歳半、8カ月の娘2人)で、築40年位の民家を借りて生活しています。目の前には大阪湾、背後には緑したたる山々が大きな腕で包んでくれています。小鳥のさえずりに目が覚めて一日が始まり、木々の香りで四季を楽しみ、豊かな自然と人情にドブプリつあって好きな農業をしています。



畑7反、水田2反余りを耕作

平野朗さん 43歳 淡路市楠本406-1

横浜育ち～淡路市へ



現在は、畑7反、水田2反余りを耕作し、夏は主にカボチャ、キウイモ、サトイモ、ニンジン、4種類のネバネバ野菜(モロヘイヤ、オクラ、クーシンサイ、ツルムラサキ)などを栽培し、水田は今年で3年目になります。古代米(赤・黒・みどりもち)、う

るち米(ミルクイスター)を作付けし、古代米は手植えて、うるち米は田植え機で植えています。

作物は有機肥料で栽培し、土はジュウタンのようにホカホカで、野菜はとてもやさしく真綿でくるまれたようで、子どもの成長と同じようにどの野菜も元気いっぱい育っています。水田の準備も順調で、水持ちが良いように最初は場あぜから、土を寄せ、やわらかく、空気を抜いた後、塗あぜをしています。左官さんの壁塗りのように美しくできあがり、「大豆でも植えようかな」と話されていました。

最初は場あぜから、土を寄せ、やわらかく、空気を抜いた後、塗あぜをしています。



古代米は手植えです。

平野さんは横浜で育ち、子どもの頃から祖父とともにセリ、ワラビ、ゼンマイなどを採取し、大人になっても沖縄で農家民宿やサバイバルキャンプをしながら魚をとったりパイヤをとったりして、身体もそれなりに自然に同調して、自分で農業をしようと思い、京都で野菜づくりをして、素敵な奥さまと出会い、自分たちの夢をかなえるため単身で淡路に来島。キャンプ生活をしながら家や田畑を探し、知人の紹介で田畑を借り、また民家も借りて奥さまを迎え、今ではデーと淡路に落ち着き、可愛い子どもたちにも恵まれ、平野さんご夫婦のさわやかさに淡路のファンも増えています。

なぜ、淡路へと伺うと、海、山、里が近くにあるのが好きで、自然の恵みがぎゅっつとつまったところで暮らすのが夢だったようです。観光客の来る場所の方が受け入れてもらいやすく、あらゆる面の生

活が、2km以内ですむことも理想的で、最初は機械も使わず農業をしていましたが、「淡路では機械を存分に使わせてもらっています。」と謙虚に話され、来島の2シーズンの冬は生活費を得るため、大阪湾で栽培しているのりの刈り取りに従事し、今年の冬はイカナゴ漁の体験もしたそうです。「都会に比べて田舎暮らし生活の方が楽しい」と話されています。子どもの将来も見すえて近くに保育所、学校もありと、父親顔で頼もしく感じました。また、奥さまの弥生子(みおこ)さんは有機農業高校出身で常に家族の健康を考え、お料理も得意な素晴らしい奥さまです。楠本の冒険の森近くで野菜、お米を作っているカッコイイお兄さんを見かけたら声をかけてください。その方が、平野さんです。人なつっこい笑顔で農業のお話に花が咲くこと、まちがいなしです。(応援隊:廣岡ひろ子)





柴山 厚志さん・美紀さん

柴山さんご夫婦

南あわじ市の国道28号線の近くに
周りとは少し変わった畑があります。周
りは玉ねぎやレタスが一面に広がる
農作地ですが、そこは一筋ごとに違
う種類の野菜が育っています。トマト



島でつけたやりがい 6年目の西洋野菜作り

やキュウリではなく見たことのない実や葉っぱ。人づ
てに訪ねてみました。雨の日も風の日もほとんど毎日
農園に出ているのは柴山厚志さん、そして奥さんの美
紀さん。2010年1月、神戸市から南あわじ市に移住。
40アールほどの農園の名前は「淡路島西洋野菜園」。
無農薬・無化学肥料での野菜作りに取り組む二人で
す。倭文地区の有機農家での1年間の研修を経て農
業どころ三原地区にて、イタリア野菜を中心に多品目
露地栽培に挑戦中。(およそ150種)ルッコラ、フェネル
ル、花ズッキーニ、そして聞いたことのない名前の野菜



が農園一面に広がります。

おいしくて安全で個性ある野菜づくりを目
指し日々奮闘中の二人。野菜の持つ本来
の味にこだわり安全な野菜を作るための二
人のコンセプトは、無農薬無化学肥料栽培
と自家採種。そして踏み込み温床だそうで



す。野菜の持つ本来の力を信じて無農薬で安全な野
菜を育てる。自分で育てた野菜の種を採り続けてその
土地の風土に合った野菜を作る。自然の資源(落ち
葉、米ぬか、菜種油粕、鶏糞)を利用して寒い時期か
ら苗を育て微生物の醗酵による力を借りて育苗する。
そうして育てた野菜は、食べる人と繋がっていたい
という思いから島内や京阪神のレストランなどに直接卸
されています。手間のかかる農法をあえて選ぶ二人
の休日もしっかり野菜の話。レストランに行って自分
たちの育てた野菜に出会うのが楽しみという、柴山夫
婦です。

無農薬無化学肥料栽培と
自家採種そして踏み込み温床



野菜の持つ本来の力を信じて
無農薬で安全な野菜を育てています。



※ HP淡路島西洋野菜園で
二人の育てた素敵な野菜に
出会えます。



(応援隊:村上 紀代美・坂本 厚子・川原 雅代)



土屋さんご夫婦

北海道から五色町へ 立派なタマネギ!



淡路島は農業が盛んな地域ですが、高齢化や後継者不足などにより、年々農業者が減少しています。そんな中であって、「Iターン」により、淡路にしっかり基盤を築いて農業に取り組んでいる方がいます。

洲本市五色町在住の土屋淳(つちや あつし)・藍(あい)さんです。土屋さんのご出身は兵庫県川西市。北海道で競走馬の調教をしていましたが、以前時々訪れていた淡路島の風土や気候が気に入り、ライフスタイルを考えて、10年前に五色町に移って来ました。人脈のないゼロからのスタートであったので、とても苦労したそうです。地元へ溶け込んでいくためにも祭礼団にも参加しました。また、元入れが大変だったということでした。

農業は仕事の時間の融通が利くことや家族と共有する時間がしっかり取れること、また、自分の生産物を選んでくれた人達の声が届きやすくなることなどにやりがいを感じておられます。奥様と2人の労働力で、水稻のほか、野菜(タマネギ、ブロッコリー、サニーレタス、ピーマン)を栽培され、これからは、規模の拡大とともに品質の向上に重点

を置き、単価のアップを目指していきたいとのこと。



Iターン★アドバイス

北淡路ではIターンで、南淡路ではUターンで農業に取り組んでいる若者が少しずつ出てきているようですが、そんな若者へのアドバイスを伺うと、①地元での人脈作りをしっかりと行う、②農業のプロのもとで学ぶ(弟子入り)、③サポート制度を利用する、④資金の準備をしておく、等でした。

また、土屋さんは、現在若手農業者の集まる洲本市農業青年会議(旧4Hクラブ)の代表として、活躍されています。頑張っている姿を見て、淡路島の農業をしっかり支えてもらっていることがよく分かり、たくさん元気をもらいました。(応援隊:中田 浩嗣)

- ◆経営規模: タマネギ 80a
 水稻 60a
 ブロッコリー 100a
 サニーレタス30a ピーマン3a
- ◆労働力: 本人、妻



福島県沖へIターン ふくしま浜風



5月5日、洲本港沖にクレーン船に吊られて突然現れた巨大な物体、それは「ふくしま浜風」という名称の風力発電設備でした。その「ふくしま浜風」はむずかしい言葉でいうと「浮体型洋上風力発電設備」だそうです。

写真で見るとわかるように、一般的な風力発電設備を海

上に浮かべて発電し、発電した電気を海底ケーブルで送電します。洲本港沖で生まれ育った「ふくしま浜風」が7月1日(予定)に設置する福島県沖約20Kmの地点に向けて出発します。設置された福島県沖でたくさんの電気を発電してほしいなって思います。

(応援隊:田処 幸久)



洲本港沖に現れてからほぼ完成するまでを写真で追いました。完成図などは洲本港岸壁に設置された「工事説明標示板」から引用しました。

～トライやるウィーク～

5月16日(月)～5月20日(金)の5日間、トライやるウィークが行われました!



「ポケットあわじトライやる版」はパソコンで拡大して見てね!

淡路文化会館では淡路市立一宮中学校の2年生4名の女子生徒が体験をしました。たくさんの方々の利用の方々とふれあいにより、多くのことを感じ学ぶことができました。生活創造しんぶん「ポケットあわじ」づくりにもトライしました。これらの経験を今後の学生生活の中で、また将来に活かしてくれることと思います。(担当



～ 実習内容 ～

1日目 オリエンテーション、案内看板作成

オリエンテーションでは、文化会館の施設を見て回って、とても大きな施設だと知りました。案内看板の作成では、自分なりに看板をつくれたので、とても楽しくできました。

2日目 いざなぎ学園前日準備、パフォーマンススペースの横花壇の草引き

いざなぎ学園の前日準備では、昨日作った案内看板を貼ったりしおりを作りました。花壇の草ひきでは4人協力してひまわりの種を植えることができる状態にまですることができました。とても暑かったし、大変だったけど達成感を得ることができて良かったです。

3日目 いざなぎ学園運営補助、「いざなぎ学園」大学運営補助 水やり

いざなぎ学園運営補助では、しおりを配ったりあいさつをしたりと、いろいろな人と接することができました。お年寄りの方々もいろんなことに挑戦したりしていてすごいなと思いました。そんな元気な姿を見てとても勇気づけられたような気がしました。

4日目 水やり、「ポケットあわじ」の作成

おとい植えたひまわりに水をやりました。きれいに咲いてほしいです。また「ポケットあわじ」を作成しました。4人で協力して作ることができてうれしかったです。

5日目 「ポケットあわじ」の作成、館内清掃

トライやるウィーク最終日、少しさびしさを感じながら「ポケットあわじ個人号」を作りました。1日目から振り返っていたので、この1週間は私たちにとっていい機会になったと感じました。この1週間で学んだことを忘れずにこれから活かしていきたいです。

感想 この5日間で人と接することの難しさや仕事の大変さをまなぶことができました。そして、改めて返事やあいさつをすることの大切さを感じることができました。この5日間で学んだことを中学校生活でも生かしていけるようにしたいです。



夢幻ダンス



衣装だけは美しい社交ダンス集団です。昭和時代は若かった。過去の昭和に十分貢献してきた私たちです。当然人生の折り返し点は相当の昔

今月の生活創造活動グループ紹介

に過ぎました。だから日々の運動不足を解消するために社交ダンスクラブを立ち上げました。週一度の割合で集い適度な運動と少しの緊張感を楽しんでいます。休憩時には茶菓子を囲んで他愛もない日々の雑談を楽しんでいます。集まり以外に要望があれば出かけて華やかな踊りを披露したりします。春は花見、秋は観月、冬はクリスマスパーティー、カラオケ・ゴルフと趣味多き昔の若者集団

です。中央ではGDP600兆円達成を目標に掲げ、総理・晋三様は一億総活躍を声高に提唱されていますが、汗して働いた高齢者を楽しませて下さい。……だから社会の第一戦から少し距離を置き夢やまぼろしの安楽的世界に逃避しています。よって「夢幻ダンスクラブ」と名付けました。こんな気楽な集団の仲間入りをしませんか。

淡路文化会館からのお知らせ

淡路生活創造活動グループ交流会開催

日ごろ、淡路生活創造情報プラザを拠点に活動している皆さんが、年に一度、他のグループと情報交流をする発表会です。趣味や特技を生かし活動するグループの発表をご覧になりませんか？

- ◆日時 平成28年7月9日(土)
12:30受付 12:50~17:00
- ◆場所 淡路文化会館 講堂
- ◆見学 無料

淡路文化会館はグループ活動を応援しています。

施設(プラザ)・印刷機(用紙別)が無料で使用できます。

◆内容

①グループ活動発表

歌・楽器演奏・大正琴・ダンス・手話等、日頃の活動の成果をグループで発表します。

②グループ活動紹介

グループ活動の内容や様子、活動を進める中でのアイデアや悩みなどを簡単に説明・紹介します。

③グループ活動展示

当日参加できないが、日頃の活動の成果を展示にて紹介します。

【問】 淡路文化会館

〒656-1521 淡路市多賀600Tel.0799-85-1391

淡路消費生活センターからのお知らせ

くらしの安全・安心推進員をご存じです

「くらしの安全・安心推進員」は安全で安心なくらしを推進することを目的に地域の消費生活のリーダーとして、消費者被害に遭いやすい高齢者等への見守りを強化するため、兵庫県が委嘱した方々

主な活動内容

1. 被害未然防止のための見守り活動
2. 消費生活に関する情報の収集や提供活動
3. 相談の対応と相談窓口の紹介
4. 出前講座や資料配布等の啓発活動

などです。各市の推進員は、

- 洲本市 17名
- 南あわじ市 11名
- 淡路市 20名

です。

詳しくは消費生活センターまでお問い合わせください。

兵庫県淡路消費生活センター
消費生活相談・多重債務相談
☎0799-23-0993 9:00~12:00 13:00~16:30
(土日祝日・年末年始は除く)



淡路島くにうみ協会からのお知らせ

俳句入門講座

俳句初心者の方を対象に、俳句の基礎知識や俳句の歴史、作り方等を4回に分けて学ぶことができる講座を開催します。

- 日時：8/6(土) 20(土) 27(土) 9/3(土)

14:00~16:00

- 場所：淡路文化史料館

- 講師：高田 菲路 正井 良徳
中谷 のぶ 三根 香南
稲山 忠利

- 募集対象：島内在住・在勤・在学の高校生以上の方、先着40名

- 受講料：500円(全4回分)

※事前申込が必要です。

【問】 (一財)淡路島くにうみ協会

TEL 0799-24-2001

FAX 0799-25-2521

| 施設等 | イベント | 日時・会場 | 料金等 |
|--|---|--|--|
| 淡路島くにうみ協会 〒656-0022 洲本市海岸通1-11-1 TEL 0799-24-2001 FAX 0799-25-2521 | 第1回淡路島くにうみ講座「淡路島の魅力づくり」 講師：アレックス・カー氏(東洋文化研究者 NPO法人チオリトラスト理事長) 淡路島の地域資源を生かした魅力づくりを、まちづくり(地域づくり)の観点からお話いただく。 | ●日時：7/30(土) 14:00～15:30 (開場13:30) ●場所：洲本市文化体育館 (洲本市塩屋1-1-17) | ★無料 定員300名 ※事前申込必要 締切7/29(金) 但し定員になり次第締切 【問】(一財)淡路島くにうみ協会 TEL 0799-24-2001 FAX 0799-25-2521 |
| 淡路島 国営明石海峡公園 〒656-2306 淡路市夢舞台8-10 TEL 0799-72-2000 FAX 0799-72-2100 | 淡路市夏まつり | ●日時：7/24(日) 10:00～ 花火20:00～ | ★入園無料 【問】淡路市市役所商工観光課 TEL 0799-64-0001 |
| | わくわく昆虫フェスタ | ●日時：7/9(土)～8/31(水) 10:00～17:00 ●場所：ビジター棟 7/26～8/2は海のテラス休憩所 | 料金はイベントにより異なる。 ※別途入園料・駐車料金が必要 |
| | 園芸療法ボランティア実践講座 3回すべて参加可能な方が対象 | ●日時：①8/10(水) ②28(日) ③9/14(水) 10:00～12:30 ＊事前申込が必要 ●場所：淡路島国営明石海峡公園 | ★参加費：各回500円 ※別途入園料・駐車料金が必要 ・定員20名(先着順) 【申込み・問合せ】明石海峡公園管理センター TEL 0799-72-2000 |
| 淡路市立サンシャインホール 〒656-2305 淡路市浦148-1 TEL 0799-74-0250 FAX 0799-74-0256 | ふだんぎコンサート～夏の日帰り音泉(おんせん)～ 皆様の大好きな曲をご用意しております！ | ●日時：7/10(日) 14:00開演 ●場所：一階ロビー ●休館日：木曜日・祝日 | ★入場料500円(お茶とお菓子つき) 【問】淡路市立サンシャインホール TEL 0799-74-0250 |
| 淡路人形座 「7月公演」 『戎舞』 『火の見櫓』 〒656-0501 南あわじ市福良甲1528-1地先 TEL 0799-52-0260 FAX 0799-52-3072 | ①日時：7/1(金)～5(火)午前、9(土)～12(火)、15(金)～22(金)、25(月)～31(日) ★大人1,500円 中高生1,300円 小学生1,000円 幼児300円 「人形解説」「戎舞」「伊達娘恋緋鹿子 火の見櫓の段」 ②日時：7/23(土) 24(日) ★大人1,000円 中高生800円 小学生600円 幼児200円 「人形解説」「戎舞」 ●定時公演時間 10:00, 11:10, 13:30, 15:00 ●臨時公演 (30名様以上の場合) 9:00, 16:00 (事前予約が必要) ●7/16(土)～8/30(火) 大人1名様入場につき子ども3名様(小学生以下)を無料! ●7月の休館日 7/5(火)午後～8(金), 13(水), 14(木), 20(水), 27(水) (5(火)午後～8(金)と14(木)は出張公演のため臨時休演) 【夏休み特別企画】バックステージツアー 先着20名様限定(11時の公演を見られた方) 7/30(土)～8/28(日)の間の土・日、11時の公演終了後ふだん見る事のできない舞台を座員が案内します。 【今月のトピックス】 淡路人形浄瑠璃後継者発表会 7/24(日) 淡路市文化会館(淡路市多賀600) ★入場無料 淡路人形芝居を継承する小・中学生・高校生・社会人による淡路人形浄瑠璃の発表会です。各団体が一同に集うのはこの機会だけです。日頃の成果を存分にお楽しみください。 【問】淡路人形座 TEL 0799-52-0260 FAX 0799-52-3072 | | |

| 施設等 | イベント | 日時・会場 | 料金等 |
|--|--|--|--|
| 淡路文化会館 〒656-1521 淡路市多賀600 TEL 0799-85-1391 FAX 0799-85-0400 | ①古民家 ②淡路島公園ボランティアの紹介 ③後藤 剛写真展「淡路人形浄瑠璃」 ④大漣禮子・葛原明子姉妹展 ⑤井村澄展船舶模型展 | ●日時 ①②～7/10(日) ③7/12(火)～24(日) ④⑤7/26(火)～8/7(日) ●場所 ①④美術展示室 ②⑤県民ギャラリー ③美術展示室・県民ギャラリー | ★無料 【問】淡路文化会館 TEL 0799-85-1391 |
| 洲本市文化体育館 〒656-0021 洲本市塩屋1丁目1-17 TEL 0799-25-3321 FAX 0799-25-3325 | ①第48回潮香会書作展 かな書道作品展 ②渦潮世界遺産推進フォーラム 講演会・和太鼓演奏・落語 ③混声合唱サンシャイン ジョイフルコンサート 合唱コンサート ④落語探検隊 at sumoto アマチュアの落語ライブ ⑤塩沼亮潤in淡路島 | ●日時 ①7/2(土) 3(日) 10:00～18:00最終日は16:00まで ②2(土) 13:15～16:30 ③3(日)14:00開演 ④17(日) 14:00開演 ⑤18(月祝) 15:00開演 ●場所 ①会議室 1A-2・3 ②③⑤しばえもん座 ④会議室 1A-1 | ★無料 ⑤のみ3,000円 【問】洲本文化体育館 TEL 0799-25-3321 |
| 南あわじ市滝川記念美術館玉青館 〒656-0314 南あわじ市松帆西路1137-1 TEL 0799-36-2314 FAX 0799-36-5408 | 平成28年度 館藏品展Ⅱ 直原玉青・村上三島 合作展 | ●～7/10(日) 9:00～17:00 ●月曜休館 | ★大人 300円 高大生 200円 小中生 100円 ※小中生は「ココロンカード」「のびのびパスポート」利用可 (入館は16:30まで) 【問】玉青館 TEL 0799-36-2314 |
| | ちんげんさいのキャンベッチョナイワールド ～川東丈純絵本原画展～ | ●7/16(土)～9/4(日) 9:00～17:00 ●月曜休館(ただし、7/18(月)は開館、19(火)は休館です。 | |
| 市民交流センター 〒656-0054 洲本市宇原1788-1 TEL 0799-24-4450 FAX 0799-24-4452 | 花の絵ファンタジック水彩画展 色々な種類の花を水彩絵具でにじみの魅力を活かして描き楽しんでいます。 | ●日時：7/2(土)～7/30(土) 9:00～21:00 ●場所：アールギャラリー ※最終日は16:00まで | ★鑑賞無料 【問】市民交流センター TEL 0799-24-4450 |

編集便り

西向きの窓に、たてすを立て、勝手口に風鈴を下げました。プランターに朝顔とひまわりの種を蒔き、ミニトマトの苗を2本植えました。私の夏支度です。



「暑いですね」が挨拶になる日々が続きますが、心に涼しさを感じられる工夫で、夏を過ごしたいですね。

(応援隊：小原 町子)

「ポケットあわじ」は、応援隊の手により取材や編集がされ、毎月3,000部発行しています。そして、島内各市の庁舎・公民館・商業施設など約220カ所に無料配布しています。淡路文化会館のホームページには、カラー版を掲載していますので、是非ご覧ください。また、読者の皆さまからのお便

(発行) 淡路生活創造応援隊

淡路文化会館

〒656-1521 淡路市多賀600

TEL 0799-85-1391 FAX 0799-85-0400

E-mail : a-pocket@hyogo-ikigai.jp

